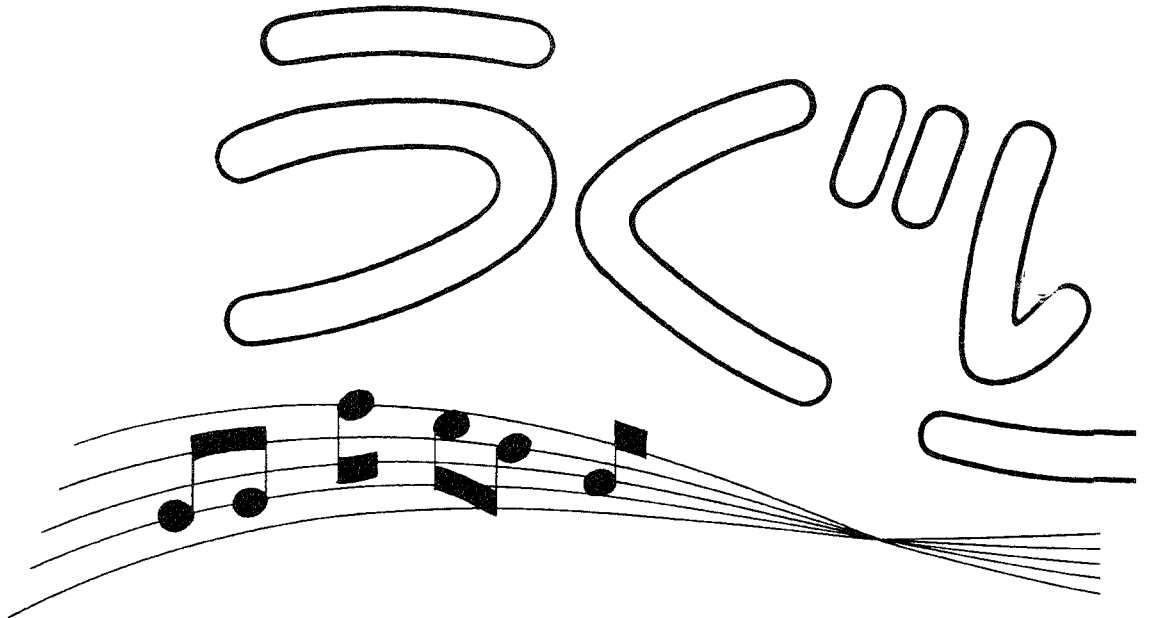
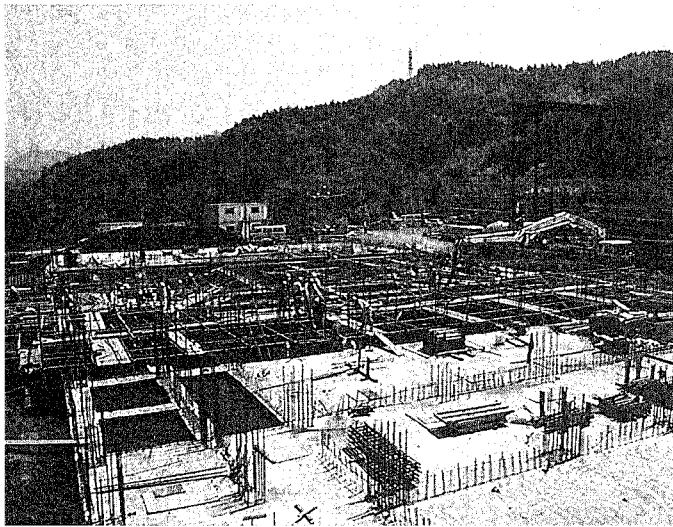


響きわたれ 都留文化のさえずり



題字のデザインは、都留市在住の漫画家小林博美さんにお願いしました。



着々と建設が進む本体工事

都留市文化

財団 都留楽友協会
法人 都留楽友協会スタート

開館まで一年半 着々進む準備

市では、着々と進むハード面の整備に合わせ、ソフト面の充実を図るため、昨年来設立準備を進めてきた財団法人都留楽友協会を今年四月十二日に発足させました。ホール管理運営の専門スタッフの養成、開館まで一年半とせまったオープニング事業やその後の自主事業の契約等をスムーズに行うなど財団のメリットを最大限に生かすよう運営して行きます。

財団の理事会は、都倉市長が理事長に就任するとともに、野田助役、横山教育長、白尾都留文科大
学学長、近藤都留文科大教授で組織され、事務局は市派遣職員三名、財団職員三名でスタートしました。今後、開館へ向け準備が本格化するとともにスタッフも充実して行く予定です。

また、財団と市民の皆さんをつなぐ重要な役割を担う企画運営委員会についても、市内各界各層から幅広く人選を行い六月中には第一回の会合を開催する予定です。

柿落こけらとしては中村絃子

オープニング事業の
検討開始 #bto

開館記念式典後から始まる一連のオープニング事業の検討も始まっています。既にピアニストの中村絃子さんには『うぐいすホール』の幕開けに『ピアノ開き』の演奏をお願いしています。

中村さんには、当ホールの設計段階から指導・助言いただいているほか、今後『芸術顧問』としてホール完成後も引き続きかわっていただくことになっています。

今後、企画運営委員会の意見を取り入れながら、市民の皆さんが一度はホールに足を運んでいただけるオープニング期間にしたいと考えています。